

うどん県・アート県・いいものいっぱい香川の魅力 ～ホ・ヨンマン画伯による香川県取材～

ソウル事務所

クリアソウルでは、韓国の漫画家ホ・ヨンマン画伯を日本の各地に招き、取材していただいたうえで、韓国でそれを広く紹介する事業を行っています。

今回は、2012年9月15日(土)～9月18日(火)の日程で実施した香川県取材の様子を報告します。

1. うどん県

2010年家計調査(総務省)の結果によると、県庁所在地の1世帯当たりの生うどん・そばの年間消費支出額は、香川県の高松市が全国トップで、うどん用小麦の使用量も全国1位という結果になっています。この結果を裏付けるかのように街の至る所に値段も安くおいしいうどん屋さんをたくさん見ることができます。

そこで、我々もうどん屋さんをはしごして本場の味を取材しました。

また、食べるのみではなく、実際にうどん作り体験についてもホ画伯自ら体験していただきました。



うどん作り体験の様子

2. アート県～生活空間とアートの融合～

香川県内に所在する直島は、瀬戸内海に浮かぶ島で、高松港よりフェリーで約50～60分ほどの距離にあります。町全体にアート作品が散らばっており、正にアート県香川を代表する地域の一つになっています。

様々な美術館や美術作品を巡りながら、少しだけ垣間見ることができる地元の人々の生活など、取材陣一同大変興味深い取材となったようです。

また、ホ画伯ご自身も、アート作品は勿論ですが、島の雰囲気などすべてに好感を持たれた様子で、再び訪れたいとお話されていました。

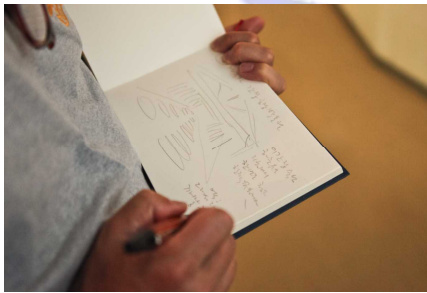


直島を取材中のホ画伯

3. 香川県の歴史と文化に触れる

国の特別名勝に指定されている日本庭園である栗林公園を取材しました。広大な庭園の中では、十分な取材時間を確保し、茶室での抹茶体験や和船乗船体験などを行いました。慌ただしい取材の中で、思わず生じた静かな時間は、先生にとっても古来日本文化に思索を深める貴重な時間になったのではないかと思います。

そのほか、木画伯にとって香川における忘れられない味のひとつとなった物が醤油でしたが、香川を代表する醤油メーカーであるマルキン醤油記念館も取材しました。木画伯は、醤油づくりの行程や歴史などスケッチを取りながら熱心に聞いておられました。



マルキン醤油記念館にて

栗林公園にて

4. 再び訪れたいと思わせる魅力を持つ香川

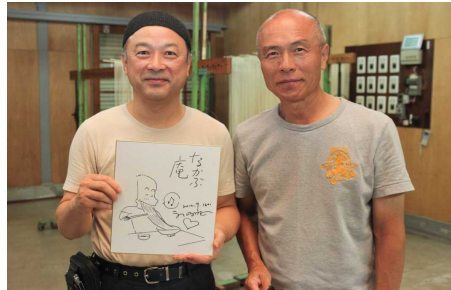
うどん県・アート県として有名な香川県には、まだまだ魅力がぎゅっと詰まっています。今回は紹介しきれませんでした。取材において訪れた地はこれだけではなく、まだまだたくさんあります。

3泊4日の取材では、とても知り尽くすことができない魅力を持つ香川県は、同時に再び訪れたいと感じる不思議な魅力を併せ持つ地です。

我々の取材でご紹介できる香川の魅力はほんの一部に過ぎないかもしれませんが、

是非この魅力が広く韓国の皆さんに伝わり、もっともっとたくさんの韓国の方が香川を知り、香川に来るきっかけとなることを願っております。

最後に、今回の取材にあたり大変ご尽力いただきました、香川県観光交流局観光振興課の皆様、また、暖かいおもてなしの心でご対応いただいた取材先の皆様はこの場をお借りしてお礼申し上げます。



取材先の皆様

今後ともクリアソウル事務所は、日本の魅力発信に積極的に努めていく所存でありますので、どうぞよろしく願いいたします。

(石塚所長補佐 鹿児島県派遣)

■ 韓国著名漫画家による日本の魅力発信事業
(来年度も実施予定)

ご興味のある自治体は、こちらまでお問合せください。

担当：クリアソウル事務所 石塚

Mail: info@clair.or.kr

Tel: +82-2-733-5681